

# 五代若松原地区

## I 協議体の概要

会議名	五代若松原地区地域支えあい会議		
設置年月日	平成30年5月18日	開催頻度	6回/年
構成団体 (◎:事務局)			
<input type="radio"/> 自治会連合会	<input type="radio"/> まちづくり協議会	<input type="radio"/> 民生委員児童委員協議会	<input type="radio"/> 地区社会福祉協議会
<input type="radio"/> 老人クラブ連合会	福祉協力員連絡会	<input type="radio"/> 健康づくり推進委員会	第2層生活支援コーディネーター
<input type="radio"/> 市社会福祉協議会	◎ 地域包括支援センター	その他 ( )	
設置方式			
<input type="radio"/> 新規設置	既存会議活用 ( )		地域ケア会議活用
設置要綱・会則等の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
設置までの経緯			
時期	内容		
平成29年5月	地域ケア会議 (メンバー:自治会連合会, 民児協, 地区社協, 老人クラブ, 市社協等) → 地域包括ケアシステムの概要について共通理解を図った。		
平成30年 2月~3月	勉強会① (参加者:民生委員, 福祉協力員, 単位自治会長, その他有志住民) → 地域支え合いの取組についての講義を通し, 地域住民に広く理解促進を図った。 勉強会② (参加者:勉強会①と同様) → 助け合いをテーマとした体験ゲーム, 地域課題に関するグループワークを通し, 第2層協議体の活動について理解を深めた。 勉強会③ (参加者:勉強会①②と同様) → 勉強会の振り返りとともに今後の取組に向けた意見交換を行い, 協議体設置に向けて検討を進めていくことについて共通認識を図った。		
5月	地域支えあい会議設置 (メンバー:自治会連合会, 地区社協, 民児協, その他有志住民) → 第2層協議体の進め方について検討を行い, 協議体設置について合意形成		
〃	第2層協議体設置		
協議体における検討内容 (協議体で取り組んできたこと, 議論してきたこと)			
地域情報の共有, 課題やニーズの把握について	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域団体における活動の情報共有・意見交換</li> <li>勉強会で抽出した課題及び解決策について意見交換</li> <li>地域住民の支え合いに対する意識についてアンケート調査</li> </ul>		
支え合い活動について (見守り活動, 居場所づくり, 生活支援ボランティア等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>北若松原自治会の支え合い組織「SAT」の取組について周知方法の検討</li> <li>徘徊模擬訓練 (平成27年から年1回開催) の活動報告</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>「支えあい会議」のチラシを作成し, 地域住民へ周知</li> </ul>		

## II 取組事例

### 【アンケート調査に併せた、地域の支え合いについての周知活動】

#### 経緯：

平成31年2月 「支えあい会議」のチラシ回覧について検討  
 チラシ・アンケート案を作成  
 令和元年6月 チラシ配布・アンケート調査方法の検討  
 7～8月 アンケート調査の実施

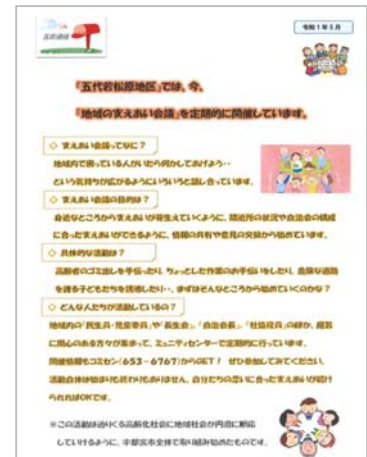
#### 内容：

- ・ チラシ…「支えあい会議」の概要について紹介
- ・ アンケート…手伝える内容などについて調査

#### 方法：

- ・ 回覧板
- ・ 地域のイベント（ふれあいのつどい、五若の日）で配布・記入

#### 【「支えあい会議」チラシ】



#### 【地域の支えあいアンケート】

地域の支えあい アンケート							
あなたの年代	10-20代	30-40代	50-60代	70歳以上	性別	男	女
当地区では一昨年頃から定期的に「支えあい会議」を開催して、関係者のコミュニケーションの機会を創出しています。 貴のように活用可能な方は多くても、地域の支えあいは続けていけるかをしません。 みなさんが知っている人を見つけたら、どんなことでお手伝いできるかを教えてください。							
高齢者（65歳）のご近所さん	ぜひお話しが大事そうだからお話ししよう						
	高齢者もしりていはいはやってあげられる						
	若い世代も関心は高いところはやってあげよう						

※ 今後も必要に応じて内容を修正し、周知活動を継続予定

### 効果（検討中の場合は、期待する効果）

アンケート調査と「支えあい会議」の周知を併せて行ったことにより、支え合い活動に関心を持ってもらうことができ、「支えあい会議」への参加者の増員につながった。

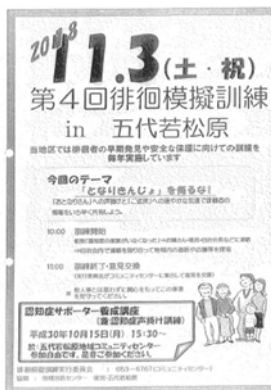
### 【地域情報の共有】 #

#### 【地域支え合いチーム 北若SAT】



北若松原自治会の役員、班長で構成された、高齢者対象のボランティア活動について周知を行った。#

#### 【徘徊模擬訓練】



地域住民から「認知症について勉強したい」との要望があり、包括が提案し、H27年から年1回実施#  
 周知活動や活動報告を行っている。#

## III 協議体を設置して、良かったこと

- ・ 各地域団体の活動について意見交換することにより、課題を共有し、解決策について様々な意見を出し合うことができた。
- ・ 周知活動に力を入れたことにより、支え合い活動について、広く地域住民への理解や関心を得ることができた。

## IV 今後の方向性

- ・ 今までに実施した意見交換やアンケート調査の結果から、具体的な支え合い活動について検討していく。
- ・ 地域課題の優先順位を整理し、地域で対応可能なことから取り組む。